

室蘭工業大学しくみ解明系領域（化学生物工学ユニット）教員公募

1. 募集人員：助教 または 准教授 1名（女性限定）
2. 所属：しくみ解明系領域（化学生物工学ユニット）
3. 専門研究分野：広い意味での有機化学
4. 担当科目：
助教
学士課程（システム理化学科・化学生物システムコース）：有機化学系科目（有機化学D、有機化学実験など）、化学・生物学概論（化学側を担当）および化学実験から3科目程度
准教授
学士課程（システム理化学科・化学生物システムコース）：有機化学系科目（有機化学C、有機化学D、有機化学実験など）、化学・生物学概論（化学側を担当）から4科目程度
大学院博士前期課程（環境創生工学系専攻・化学生物工学コース）：有機構造化学特論B
5. 応募資格：
 - (1) 女性であること（男女雇用機会均等法第8条に該当。女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した採用を行うもの）。
 - (2) 博士あるいはPh.Dの学位を有する方（着任時まで取得見込みでも可）。
 - (3) 上記専門研究分野の研究および異分野融合研究に意欲を持ち、学部、大学院の教育に積極的に取り組める方。
 - (4) 国籍は問わない。ただし、学士課程の教育を日本語で行えるとともに、大学院の教育を日本語または英語で行えること。
 - (5) 有機化学関連分野の教員をはじめとした化学生物システムコース教員ならびにシステム理化学科教員と協力して教育・研究に取り組める方。
6. 着任時期：令和9年4月1日以降のできるだけ早い時期
7. 給与：年俸制（国立大学法人室蘭工業大学年俸制適用職員の給与等に関する規則による）
8. 任期：助教 5年（再任審査により任期なしへの移行の可能性有）、准教授 任期無し
9. 提出書類：
 - (1) 次の事項を記載した教員個人調書（注）
 - ① 履歴事項（学歴、職歴、学位、学会・社会活動、賞罰を区分記載）
 - ② 教育上の業績（教育歴、教育方法の実践例、作成した教科書・教材）
 - ③ 研究業績（著書、査読付論文、国際会議プロシーディングス、解説・総説、その他の論文、特許など）
 - ④ 科学研究費補助金及び競争的資金等の採択状況（研究代表者または分担者の区別を明記）
 - ⑤ その他、大学運営上の経験・実績、社会貢献、共同研究等の実績等
 - ⑥ 専門分野における特別な知識・経験
 - (2) 主要論文3編の別刷り（コピー可）と概要（それぞれ400字程度）
※査読付学術論文が3編に満たない場合は、学術論文に国際会議プロシーディングス等を加えて合計3点となるよう別刷り（コピー可）と概要を提出すること。
 - (3) これまでの研究概要（1,000字程度）
 - (4) 今後の教育と研究に対する抱負（それぞれ1,000字程度）
 - (5) 応募者に関する所見をいただける方（2名）の氏名と連絡先（住所、電話番号、e-mailアドレス）
 - (6) 応募者の連絡先（住所、電話番号、e-mailアドレス）
 - (7) 顔写真（45mm×35mm程度）
 - (8) (1)～(7)のファイルが保存されたCD-RもしくはUSBメモリー等の電子媒体
10. 応募締切：令和8年9月25日（金）【当日消印有効】
11. 選考方法：一次選考（書類選考）、二次選考（面接；教育・研究における抱負、質疑応答及び模擬講義等）※面接は、令和8年10月を予定しています。ただし、交通費等は支給いたしません。
12. 応募書類の送付先：〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 室蘭工業大学教員選考委員会委員長宛
※応募書類封筒には「しくみ解明系領域（化学生物工学ユニット）有機化学分野（希望職位を記載）応募書類在中」と朱書きし、簡易書留郵便（レターパック利用可）で送付願います。なお、提

出書類は原則として返却いたしません。

13. 問合せ先：室蘭工業大学理工学部システム理化学科化学生物システムコース長 教授・神田康
晴 e-mail : kanda@muroran-it.ac.jp Tel : 0143-46-5750

(注)上記9の(1)教員個人調書は https://muroran-it.ac.jp/guidance/bid/recruitment_fm/ja_fm/ から様式をダウンロードしてください。また、記入にあたっては、教員個人調書及び教育研究等業績調書記載例をご参照ください。なお、年号は西暦で記入してください。

* 本学の組織、教育研究内容等につきましてはホームページ <https://muroran-it.ac.jp/> から、大学案内、学部・大学院等のページをご覧ください。

* 本学は男女共同参画を積極的に推進しております（男女共同参画推進室ホームページ https://u.muroran-it.ac.jp/ge_ufr/）。